

1. 図書館のあゆみ

明治44年 (1911)	7月	・東郷慎十郎氏等の寄付を基に、町立図書館として、鎌倉小学校（現在の第一小学校）内に設立
大正12年 (1923)	9月	・関東大震災で倒壊のため閉館、のち、第一小学校の教室を使用
昭和11年 (1936)	4月	・図書館規則改正
	5月	・間島弟彦氏未亡人愛子さんからの建設費寄付により、大町蔵屋敷の御用邸跡に新館設立 職員配置される。
	10月	・開館
19年 (1944)	3月	・軍に接收され閉館
21年 (1946)	6月	・図書館再開
25年 (1950)	7月	・図書館法施行にあたり、「鎌倉図書館」を「鎌倉市図書館」に改称
37年 (1962)	6月	・団体貸出開始
45年 (1970)	6月	・腰越貸出所開設
46年 (1971)	10月	・資料の複写サービス開始
	12月	・大船子ども文庫開始
48年 (1973)	4月	・深沢子ども文庫開始
49年 (1974)	8月	・中央図書館竣工
	10月	・中央図書館開館（10月1日） ・中央図書館に視聴覚ライブラリー開設、16ミリ映写機類の貸出開始
	12月	・大船貸出所開設
50年 (1975)	11月	・中央図書館で「おはなし会」開始、52年から全館で定期的実施
52年 (1977)	10月	・視覚障害者への録音図書郵送貸出サービス開始
55年 (1980)	5月	・深沢図書館開館（深沢行政センター内）、深沢子ども文庫廃止
57年 (1982)	10月	・大船図書館開館（大船行政センター内）、大船貸出所、大船子ども文庫廃止
61年 (1986)	9月	・中央図書館でCD貸出開始
62年 (1987)	4月	・玉縄図書館開館（玉縄行政センター内）
平成2年 (1990)	4月	・中央図書館で市販ビデオ貸出開始 ・中央図書館に外国語図書コーナー開設
3年 (1991)	4月	・祝日開館（試行）開始
	6月	・神奈川県図書館情報ネットワーク（KLネット）加入
4年 (1992)	4月	・祝日開館実施
7年 (1995)	7月	・市内全館コンピュータシステムオンライン導入 貸出点数を本・雑誌6冊まで、AV3点までとし、期間を3週間（雑誌のみ1週間）とする
8年 (1996)	10月	・夜間開館試行（平日の木・金曜日、17:00～19:00）
9年 (1997)	8月	・大船図書館にAV資料配置
	11月	・第1回「リサイクル図書展」開催（平成11年度から「図書リサイクル」に名称変更、平成18年度まで毎年1回開催）
10年 (1998)	2月	・投書箱「利用者の声」設置
	10月	・藤沢市図書館との広域利用実施

		・市のホームページに図書館のページを開設
11年（1999）	3月	・腰越図書館開館（腰越行政センター内）、A V資料配置
	3月	・夜間開館本施行（平日の木・金曜日、17：00～19：00）
	4月	・「おひざにだっこのおはなしかい」各館で開催、以後各館で定期的に実施
	7月	・図書館所蔵資料のインターネット検索サービス開始
12年（2000）	3月	・「鎌倉市図書館サービス計画」策定
	8月	・玉縄図書館にA V資料配置
	11月	・子ども読書年記念「おはなし講座」開催
13年（2001）	4月	・定期休館日を月1日（毎月最後の月曜日）のみとする、開館日の拡大を実施
	7月	・「としょかんいんになってみよう！（一日図書館員）」開催始まる
	8月	・国立国会図書館総合目録ネットワークへの参加承認される ・深沢図書館にA V資料配置
	9月	・「鎌倉市図書館資料管理方針」が図書館協議会で承認される
	10月	・i-m o d e版ホームページを公開
	11月	・第一期「おはなしボランティア養成講座」開催
	12月	・市内各図書館にC D-R O M検索用パソコン導入
14年（2002）	5月	・J R鎌倉駅構内に返却ポストを設置
	10月	・中央図書館に検索用インターネットコーナーを設置
15年（2003）	4月	・各地域館に外国図書配置
	7月	・「図書館子ども会議」（子ども利用者懇談会）開催
	10月	・鎌倉女子大学との協力開始
16年（2004）	3月	・コンピュータシステム更新、携帯電話からの蔵書検索サービス開始、館内の検索用端末（OPAC）からの予約受付開始、貸出期間を全て2週間とする
	4月	・インターネットでの予約受付開始 ・マンガの貸出開始
	10月	・DVD貸出開始 ・「鎌倉市図書館資料管理基準」が図書館協議会によって策定される
17年（2005）	4月	・子ども向け行事でのボランティアとの協働開始
	7月	・ブックスタート本実施
	12月	・「図書宅配便」「障害のある方への無料郵送サービス」開始
18年（2006）	3月	・鎌倉市子ども読書活動推進計画策定開始
	10月	・地域図書館に検索用インターネットコーナーを設置 （腰越図書館のみ11月設置）
19年（2007）	1月	・中央図書館に「からだといのちの図書コーナー」を設置
	3月	・鎌倉市図書館開館百周年記念事業準備委員会を開催
	4月	・J R大船駅のブックポスト運用開始
	10月	・オンラインデータベースの導入 ・デジターの郵送貸出開始
20年（2008）	2月	・「よむべえ」中央図書館に導入 ・鎌倉市子ども読書活動推進計画策定
	3月	・中央図書館多目的エレベーターの設置

平成21年度・一年のあゆみ

平成21年

- 4月
 - ・子ども読書週間展示、子ども読書の日記念行事を各館で開催
 - ・鎌倉市図書館開館100周年記念事業実行委員会を設置
実行委員会は、4月に2回以後毎月1回開催
- 5月
 - ・平成21年度団体貸出利用者懇談会開催
 - ・長野ヒデ子氏講演会の開催
- 7月
 - ・「としょかんいんになってみよう（1日図書館員）」全館で実施
 - ・平成21年度第1回図書館協議会開催
 - ・教職員実務研修を開催
 - ・国際子ども図書館見学会の開催（市民協同事業）
- 8月
 - ・「初めての製本講座」開催
- 9月
 - ・鎌倉駅地下道ギャラリー50展示「鎌倉の谷戸を記録する3」
 - ・図書貸出を一回10冊までと変更
 - ・特別整理休館
 - ・図書館システムの更新機器入れ替え
 - ・“本の海”サポーターズ交流会の開催
- 11月
 - ・ファンタスティック☆ライブラリー2009を開催
 - ・おはなしボランティア講座開催
 - ・「かまくら図書館だより」第103号発行

平成22年

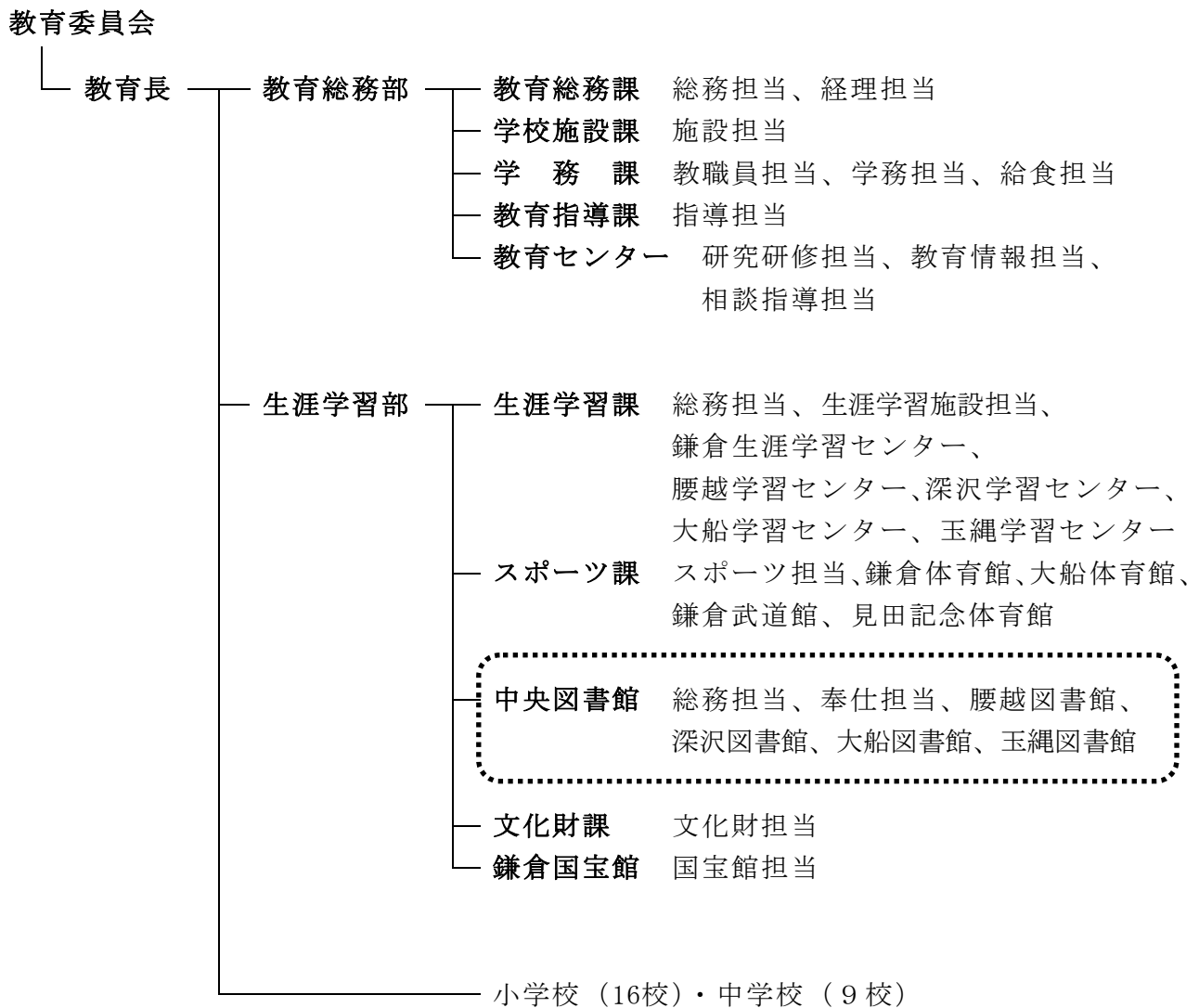
- 1月
 - ・能画家講演会の開催
- 2月
 - ・おはなしボランティアSTEP UP講座開催
 - ・16ミリ映写機操作技術認定講習会開催
 - ・「かまくら図書館だより」第104号発行
 - ・冬の図書館見学会で金沢文庫見学会開催
- 3月
 - ・アイルランド文学講演会の開催
 - ・平成21年度第2回図書館協議会開催

2. 機 構

(1) 教育委員会機構図

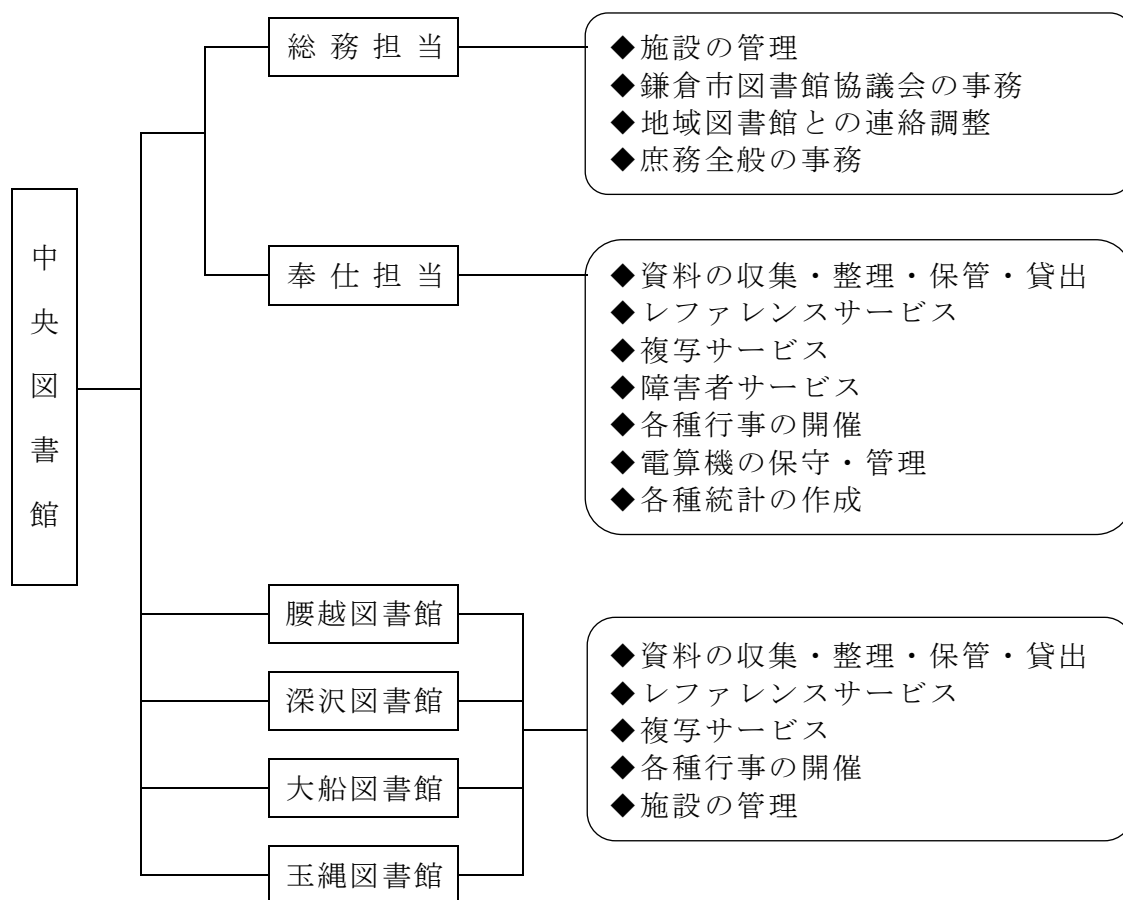
図書館は、市長とは独立した執行機関である教育委員会生涯学習部に属する教育機関です。

(平成22年4月1日現在)



※生涯学習部長及び次長は、市長部局の生涯学習推進担当部長、次長を兼務しています。

(2) 図書館の組織・主な事務内容



(3) 図書館職員

(平成22年4月1日現在)

	職 員	嘱 託 員
中央図書館長	1	
総務担当	2 (2)	
奉仕担当	8	15
腰越図書館	3	6
深沢図書館	3	6
大船図書館	3	6
玉縄図書館	3	6
計	23人 (2人)	39人

* (2) は再任用職員数、2人で職員1人分の勤務

* 嘱託員内訳 (図書館業務37人・近代史資料調査収集1人)

* 職員総数のうち司書職15人、図書館業務嘱託員総数のうち司書または司書補有資格者26人

(4) 図書館内各種委員会

鎌倉市図書館では、各種サービスや運営方法を委員会で検討・実施しています。

① 館長会議

図書館運営に関わる決定機関です。各種会議の報告や各館の情報交換を行っています。市内5館の館長及び係長以上の職員で構成されています。

② 児童奉仕委員会

0歳からの子どもと、子どもを取り巻く大人へのサービス全般を担当しています。

- ・ おはなし会、おひざにだっこのおはなしかい等の定例行事を開催しています。
- ・ 年齢別におすすめする本のリストを作成、発行、配布しています。
- ・ 学校との連携を進めています。おはなし会、ブックトークなどの訪問サービスや、教職員、PTAが主催する講座、研修会に講師を派遣する等、講座・講演会を実施しています。
- ・ 市役所の関連課と連携してブックスタート事業を実施しています。
- ・ 子どもへのサービスをより充実させるため、ボランティアを養成しています。

③ 資料管理委員会

図書・雑誌・AV等の資料の管理を行う委員会です。

- ・ 「鎌倉市図書館資料管理方針」（平成13年9月）および「鎌倉市図書館資料管理基準」（平成16年10月）に基づき、資料の収集・保存・除籍等の基準の策定、見直し、管理を行います。
- ・ 雑誌・新聞の新規購入・寄贈受入・中止について検討をします。

④ 運用委員会

よりよい図書館サービスのため、サービス提供の方法等を検討する委員会です。

- ・ 貸出・登録・予約等のサービスやカウンター業務がスムーズに行われるよう運用方法を検討します。
- ・ 「図書館の自由」に係わる問題が起きたとき、対応を検討します。
- ・ 個人情報保護の側面から図書館業務を検討します。

⑤ PR委員会

より図書館に親んでもらうため、広報活動を行う委員会です。

- ・ 館報「かまくら図書館だより」や「テーマ別本のリスト」を編集・発行しています。
- ・ 市の広報誌「広報かまくら」の「図書館だより」欄で本の紹介をしています。
- ・ 図書館利用を促進するため配布物の作成、行事を企画し、実施しています。
- ・ ホームページの企画、更新をしています。

⑥ YA委員会

ヤングアダルトに図書館や本に親んでもらうための企画を立案・実施する委員会です。

- ・ コーナーの整備やイベント企画をしています。

3. 図書館協議会

図書館協議会は、図書館の管理運営に関し図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館サービスについて館長に意見を述べる機関です。

図書館法の定めにより設置され、社会教育関係者、教育関係者、学識経験者からなる委員5名で構成されています。平成20年度から1名を市民公募により選出・任命しています。希望者は傍聴できます。

(1) 設 置 鎌倉市図書館協議会設置条例に基づく。

(2) 定 数 5名

(3) 任 期 2年

(4) 平成21年度図書館協議会

開催日時	主な審議・報告事項
第1回 平成21年7月16日(木) 10:00~12:00	・鎌倉市図書館百周年記念事業について ・子ども読書活動推進計画について ・図書館システムの更新について
第2回 平成22年3月29日(火) 10:00~11:00	・鎌倉市図書館百周年記念事業について ・市民協働事業について ・子ども読書活動推進計画について ・市議会における関連事項について

(5) 図書館協議会委員

任期	氏名	職業又は役職	選出区分
H20.12.15 ~ H22.12.14	杉本晴子	作家	社会教育関係者
	田中康正	鎌倉女子大学教授	学識経験者
	黒瀬聖子	「図書館とともだち・鎌倉」代表	社会教育関係者
	兵藤喬子	鎌倉市立第二小学校校長	学校教育関係者
	星川英輝	医学系編集出版社取締役	市民公募

4. 鎌倉市図書館一覧

	中央図書館	腰越図書館	深沢図書館
所在地	〒248-0012 御成町20-35	〒248-0033 腰越864 腰越行政センター内	〒248-0022 常盤111-3 深沢行政センター内
☎ F A X	☎ 25-2611 FAX 24-6544	☎ 33-0711 FAX 33-0724	☎ 48-0022 FAX 43-5676

開館年月	(旧) 1911(M44) 7月 (新) 1974(S49) 10月	1999(H11) 3月	1980(S55) 5月
------	---------------------------------------	--------------	--------------

対象地域人口 (H22. 4. 1現在)	47,178人	25,043人	34,167人
-------------------------	---------	---------	---------

面積	一般コーナー	575㎡	240㎡	380㎡
	児童コーナー	143	130	126
	ブラウジング コーナー	56	35	42
	A Vコーナー	58	30	0
	書庫	314	92	168
延床面積(その他含)		2,539㎡	684㎡	820㎡

閲覧席	一般	97	16	11
	児童	18	7	6
	その他	18	29	31
	計	133席	52席	48席

※その他…ソファ、長イスなど

大船図書館	玉縄図書館	計
〒247-0056 大船2-1-26 大船行政センター内	〒247-0072 岡本2-16-3 玉縄行政センター内	
☎ 45-7710 FAX 43-5711	☎ 44-2218 FAX 43-5722	

1982 (S57) 10月	1987 (S62) 4月
----------------	---------------

42,484人	25,384人	174,256人
---------	---------	----------

190 m ²	224 m ²	1,609 m ²
135	123	657
40	72	245
8	0	96
0	0	574
462 m ²	512 m ²	5,017 m ²

6	17	147
12	12	55
0	10	88
18席	39席	290席

5. 平成21年度図書館費（含む 22年度予算）

(1) 予算・決算

単位：円

		平成21年度 (当初予算)	平成21年度 (決算)	平成22年度 (当初予算)	
一般会計		56,003,000,000	57,056,071,896	57,920,513,000	
教育費		6,502,803,000	5,429,808,122	6,943,438,000	
社会教育費		2,098,423,000	1,629,439,105	2,308,193,000	
図書館費		149,191,000	144,479,533	150,063,000	
図書館費 内訳	報酬	47,183,000	47,171,600	45,988,000	
	賃金	324,000	331,800	345,000	
	報償費	186,000	162,193	438,000	
	旅費	2,967,000	2,385,740	2,924,000	
	需用費	55,727,000	52,510,988	52,568,000	
	内訳	消耗品費	43,796,000	43,503,356	40,051,000
		燃料費	1,140,000	720,676	587,000
		印刷製本費	697,000	607,356	3,366,000
		光熱水費	7,596,000	5,308,931	6,000,000
		維持修繕料	2,298,000	2,261,469	2,298,000
		備品修繕料	100,000	99,750	146,000
		車輛修繕料	100,000	9,450	120,000
	役員費	3,629,000	3,569,648	3,057,000	
	内訳	電信料	1,930,000	1,878,772	1,375,000
		運搬料	70,000	67,620	70,000
		手数料	1,576,000	1,574,244	1,559,000
		保険料	53,000	49,012	53,000
	委託料	18,305,000	17,753,931	16,333,000	
	使用料及び賃借料	19,963,000	19,687,133	27,511,000	
	工事請負費	0	0	0	
備品購入費	0	0	0		
負担金補助及び交付金	907,000	906,500	899,000		

※図書館費には、一般職員の給料、職員手当などは含まれていません。

予算の主な内訳

- 一般会計：鎌倉市全体の予算
- 報酬：図書館協議会委員・各館の図書館業務嘱託員への報酬など
- 報償費：図書館行政協力者への謝礼など
- 需用費：予算一覧表内訳のとおり
- 消耗品費：この中に図書館資料（本・雑誌・新聞・A V資料）や、文具類の購入費が含まれます。
- 印刷製本費：郷土資料の製本、予約連絡ハガキの印刷費など
- 役務費：予算一覧表内訳のとおり
- 手数料：図書館建物の維持管理のための経費。各種機器の保守点検など
- 使用料及び賃借料：主に図書館の全コンピュータ・システム稼働の費用
- 備品購入費：この中に高額の図書館資料購入費が含まれます。
- 負担金補助及び交付金：日本図書館協会や神奈川県図書館協会の分担金など

(2) 資料購入費

図書館の予算のうち、資料購入費は次のとおりです。

図書資料には、図書のほか雑誌、新聞の購入費を含みます。

単位：円

		平成21年度		平成22年度
		当初予算	決算	当初予算
中央図書館	図書資料費	16,150,000	16,062,735	15,825,000
	A V資料費	900,000	848,682	700,000
	計	17,050,000	16,911,417	16,525,000
腰越図書館	図書資料費	5,185,000	5,206,492	4,735,000
	A V資料費	550,000	576,141	350,000
	計	5,735,000	5,782,637	5,085,000
深沢図書館	図書資料費	5,420,000	5,605,183	4,970,000
	(うち団体貸出)	(335,000)	(249,978)	(290,000)
	A V資料費	550,000	524,440	350,000
	計	5,970,000	6,129,623	5,320,000
大船図書館	図書資料費	5,385,000	5,321,873	4,935,000
	A V資料費	550,000	558,601	350,000
	計	5,935,000	5,880,474	5,285,000
玉縄図書館	図書資料費	4,885,000	4,873,121	4,435,000
	A V資料費	550,000	334,788	350,000
	計	5,435,000	5,207,909	4,785,000
全館計	図書資料費	37,025,000	37,069,408	34,900,000
	A V資料費	3,100,000	2,842,652	2,100,000
	計	40,125,000	39,912,060	37,000,000

6. 平成21年度の主な事業実施報告

平成21年度の鎌倉市図書館の主な事業の実施状況を報告します。

この中には、毎年継続して行っている事業も含まれています。

(1) 図書館コンピュータシステムの更新

平成21年9月より鎌倉市図書館システムを更新いたしました。

これにより、お一人当たりで図書が10冊・2週間までお借りいただけます(視聴覚は3点のみです)。

(2) 図書館とともだちになろう(図書館振興)事業の実施

この事業は、市民協働事業としてNPO団体の「図書館とともだち・鎌倉」と図書館が協働して行うもので、1年間にわたり図書館の楽しさや、便利さ、さらに図書館の存在意義をより多くの鎌倉市民に伝え、図書館利用が促進されるように2年目の本年度も多彩な催しを行いました。(催しの詳細は、P32)

(3) 鎌倉市子ども読書活動推進事業

「鎌倉市子ども読書活動推進計画」に基づき、21年度実施予定の事業に取り組みました。

21年度は特に「かまくら読書活動支援センター」を各館の中に設置し、「子ども読書活動推進連絡会」を開催しました。「鎌倉市子ども読書活動推進計画」をお知らせするためのパンフレットを作成しました。

継続事業では、ブックスタート、市内各図書館ではおはなし会など行事の定期的開催、おすすめ本リスト作成、訪問サービス、学校との連携(学校図書館部会に出席)、ボランティアの養成(おはなしボランティア講座の開催)、支援などに力を入れました。

新規事業としては、地域文庫・家庭文庫の実情の把握と連携、赤ちゃん向け絵本のリストを図書館ホームページに掲載、地域性を活かした本の紹介リストの作成(世界遺産と鎌倉、鎌倉を調べる)、講座「てあそび・わらべうたをたのしむ会」や講演会「赤ちゃんの語りかけに絵本を」、図書館まつりなどの開催などに取り組みました。

(4) 図書館開館百周年事業の実施

鎌倉市の図書館は、平成23(2011)年に県内の公共図書館で最初に開館百周年を迎えます。これを記念する事業について図書館協議会に諮問した結果、事業の企画運営については、①実行委員会方式をとり、委員は公募する②記念誌発行については他に専門委員の参加を要請する③実行委員会の中に分科会を設けることとする。また、実施する事業については、①記念誌の発行②地域の文化・職業人による子どもたちを対

象にした講演等の世代・地域の交流を目的とした事業③地域に鎌倉市図書館をアピールできるような記念グッズ（絵葉書等）の作成、という答申を得ました。

図書館では、この答申に沿い、平成18年度末に委員を募集し、「鎌倉市図書館開館百周年記念事業準備委員会」を立ち上げ、平成19年度は、古い絵葉書等資料を購入するとともに、準備委員会をのべ15回（全体会6回、出版分科会6回、イベント分科会3回）開催し事業の具体化を検討しました。平成20年度は、資料の購入のほか、実施計画に具体的な事業を掲載するため、のべ28回（全体会6回、出版分科会13回、イベント分科会9回）の委員会を開催し検討しました。その結果、記念誌・絵葉書等の発行、イベントの開催について実施計画に掲載されました。

今年度はいよいよ残り2年となり、準備委員会を実行委員会に改め、事業の展開を図る事になりました。

(5) ブックスタート事業

ブックスタートは、肌のぬくもりを感じながらことばと心を通わす、ひとときを「絵本」を介して持つことを応援する事業です。乳幼児期から絵本に親しんでもらうことで、親子や家族のコミュニケーションを深めるとともに言葉や健やかな心を育むきっかけ作りを目的としています。鎌倉市では、平成17年7月から市民健康課との共催で開始しました。市民健康課主催の6ヶ月児育児教室の中で、読み聞かせや、わらべうたを一緒に楽しみます。その後、絵本やブックリストなどを入れたブックスタートパックを配布します。（参加状況は、P33）

(6) 資料の充実

目録マニュアルの整備の検討をはじめました。また、CD-ROMのみの資料について著作権者の許諾を得られた資料は貸出できるように資料管理方針の一部改正を行いました。

(7) 近代史資料収集体制の充実

7. 平成22年度の重点事業

〔新規事業〕

- (1) 「国民読書年」を契機とした広報活動の充実

〔継続事業〕

- (2) 図書館とともだちになろう（図書館振興）事業の実施
- (3) 資料の充実
- (4) 鎌倉市子ども読書活動推進計画に沿った事業の推進
- (5) 図書館開館百周年記念事業の実施
- (6) ブックスタート事業の実施
- (7) 近代史資料収集体制の充実